

## 産衛だより

### 平成 20 年度第 1 回専門医制度委員会議事録

日 時：平成 20 年 7 月 12 日（日）12 時～15 時 30 分

場 所：大阪産業保健推進センター

出席者：委員長：山田誠二

委 員（五十音順）：石竹達也，杉本寛治，広瀬俊雄，  
宮下和久，武藤孝司，森 晃爾（事務局），顧 問：  
大久保利晃，オブザーバー：東 敏昭（学会担当理事）

#### I. 報告事項

1. 指導医・専門医・研修医登録状況について  
7 月 1 日現在の専門医数（指導医 241 名，専門医 133 名）  
について報告があった。
2. 平成 20 年度専門医資格認定試験の準備状況について  
筆記試験部会長および口頭試験部会長から順調に進んで  
いる旨の説明があった。
3. 日本専門医制評価・認定機構について  
平成 19 年 7 月の機構からのヒヤリング調査の内容および  
本年度の協議委員会，総会の報告を行った。
4. 理事会報告（平成 20 年 6 月 14 日）  
本制度の専門医の名称を，産業衛生専門医と呼ぶことが  
承認されたことが報告された。
5. その他  
平成 20 年 7 月 5 日，6 日に開催された OHAS の実施報告  
があった。

#### II. 審議事項

1. 指導医資格更新の可否について
  - (1) 第 2 期「経過措置による指導医」の 3 回目更新該当者  
13 名のうち，9 名について更新を承認した。書類未提  
出の 3 名については再度督促し，次回委員会での審議  
事項とした。1 名については学会を退会したため名簿  
からの削除を承認した。
  - (2) 第 6 期「専門医から指導医」の 1 回目更新該当者 15 名  
のうち，11 名について更新を承認した。2 名につい  
ては猶予措置として，内 1 名は来年の総会，もう 1 名は  
本年の全国協議会および来年の総会への参加をもって  
承認することとした。書類未提出の 2 名については再  
度督促することとし，次回委員会で審議することとし  
た。
2. 専門医資格更新の可否について
  - (1) 第 6 期「専門医」の 2 回目更新該当者 5 名のうち，1 名  
の指導医への移行，3 名の専門医としての更新を承認  
した。1 名については学会を退会したため，名簿から  
の削除を承認した。
  - (2) 第 10 回専門医更新暫定者について，本年度の全国協議  
会で発表することが更新の前提であることを再度確認  
し，次回委員会までに演題申込みの証明がない場合に

は，専門医名簿から削除することを承認した。

- (3) 第 11 回「専門医」17 名のうち，12 名の指導医への移  
行，3 名の専門医の更新を承認した。1 名の学会退会者  
および 1 名の辞退者，計 2 名を名簿から削除すること  
とした。
3. 平成 20 年度専門医試験受験申請者 31 名のうち，すでに資  
格認定がされている 1 名を除く 30 名の受験資格の認定を  
承認した。
4. 平成 20 年度専門医資格認定試験の実施について，グルー  
プ分け，口頭試験の試験官の組合せ，試験実施要領，受験  
予定者向けの受験案内，筆記試験部会委員および口頭試験  
部会委員向けスケジュール案を承認した。
5. 「専門医資格認定試験受験資格（証明書）」の 2 年間の有効  
期間中に海外留学し，専門医試験の受験が不可能であった  
研修医の有効期間の延長に関する申請について審議し，平  
成 21 年度の資格試験の受験について有効であることが確  
認された。
6. 平成 20 年度の専門医認定授与式を，11 月 28 日（金曜日）  
17：30 から，産業医・産業看護全国協議会（松山市総合  
コミュニティセンター）において実施することが確認され  
た。
7. 第 82 回産業衛生学会総会（福岡）において，専門医制度  
に関するパネルディスカッションを開催することが承認さ  
れ，概要について検討を行った。さらに次回委員会におい  
て，具体的な検討を行うことが確認された。
8. 日本産業衛生学会専門医の名称を「産業衛生専門医」とす  
ることの取扱いについて，細則を改訂して対応することにな  
った。次回委員会で検討の上承認し，学会理事会で承認  
を受けた上で，専門医制度認定証への反映時期を検討する  
ことになった。
9. 産業衛生学会専門医制度について，制度のあり方，社会で  
の認知のあり方，専門医のメリット，研修施設の考え方等  
について議論が行われた。
10. 平成 21 年度専門医試験認定試験を平成 21 年 8 月 22 日・23  
日に実施することを前提とし，会場の確保を行うことにな  
った。
11. その他として，次回委員会で，来年度以降の専門医試験で  
のパソコンの使用について検討することになった。

### 第 116 回労働衛生関連法制度検討委員会議事録

日 時：2008 年 5 月 31 日午後 1 時半～5 時

場 所：東京八重洲ホール

出席者：五十嵐千代，甲田茂樹，野原誠一郎，平田 衛，堀江  
正知，矢野栄二（五十音順，敬称略）

#### 1. 委員会の中小企業（50 人未満事業所）に関する提案への理 事会等での意見について

3 月の理事会において，①厚労省宛の文書は理事会が出  
すもので，委員会等からの文書は理事会宛とすること，②  
看護部会長の河野理事から産業看護職の文言が少ないとの

意見があった。②については看護部会から別途意見を出すことになり、検討を委ねられた錦戸会員と担当委員とが直接連絡をとり、6月の理事会に向けて進めることとなった。

## 2. 産業看護職の法制化に関するワーキンググループ (WG) の報告

担当の五十嵐委員から、看護部会と当委員会との合同のWGによる法文案の文言「保健師等」については、看護協会は保健師に限定する考えで、相違があるので、1年間各地方会などで議論を重ねて調整することになった、との報告があった。

## 3. 非正規労働者に関する WG の報告

担当の矢野委員から、昨年度2回のWGを開き、考え方を整理して本を出すことになり、6月産衛時に販売される(労研出版部)、非正規労働者における健康問題は、国外では幾つもあるが、国内では報告は1本に限られ、エビデンスはまだ弱く、今後、研究を進める必要がある、との報告があった。また、情報が少なく、今回発行される本には情報の共有に大きな意義がある、現場の混乱を整理する必要がある、地域保健で見てゆく方法もあるのではないか、札幌でのシンポジウム後は健康影響のエビデンスの収集などを含めて研究会に類する形で進める、等の意見があった。

## 4. 委員会が理事会に提案した「安全衛生規則に関する要望書」を巡る問題

甲田委員長から前回第115回委員会での結論に従って、総務担当理事に意見を送ったが全く反応がない状態にある、との報告があった。堀江委員(当委員会担当理事)から再度催促を行うことになった。理事会の回答の有無にかかわらず、当委員会の立場について、札幌での第81回産衛学会時総会において、代議員ではない甲田委員長に代わり平田副委員長が発言することになった。

## 5. 第81回産衛学会時委員会報告会について

報告順序を、1) 委員会が理事会に提案した「安全衛生規

則に関する要望書」を巡る問題について(担当:堀江委員)、2) 非正規労働者の労働衛生について(矢野委員)、3) 看護の法制化について(五十嵐委員)、4) 中小企業における提案(平田委員)とし、パワーポイントファイルでの報告を行い、可能ならばA4紙1枚程度のレジュメを用意することとなった。

## 平成20年度新入会者

[北海道] 安藤慎吾, 上堀勢位嗣, 斉藤季英, 鈴木朗子, 鈴木典子, 原田幸二, 細川誉至雄, 本田 明 [岩手] 青木慎一郎, 有田 明, 寺田林太郎 [山形] 有本昌子 [茨城] 小林志津子 [栃木] 瀧深教子 [埼玉] 坂本正夫 [千葉] 黒木宣夫, 西野高敏, 山内喜充 [東京] 飯野直子, 池田信吾, 乾 真人, 井上賀晶, 上田奈穂子, 小野寺伸夫, 賀古規代, 兼板佳孝, 金田千佳, 木崎治俊, 木村 薫, 斉藤絵里子, 白川和代, 隅谷理子, 征矢敦至, 田中礼子, 玉城哲雄, 千葉愛子, 中村里美, 橋本真紀子, 原 智子, 半下石美佐子, 藤崎章好, 船本貴子, 森 治郎, 山本広子, 横森欣司, 吉澤裕世, 和田麻由香 [神奈川] 片桐裕史, 菊池葉子, 菊地律子, 隅田朋子, 宋 裕徳, 沼田久美子 [新潟] 村竹辰之 [石川] 杉田直道 [長野] 五十嵐久人, 漆畑一寿, 藤本圭作 [愛知] 片倉和子, 崔 雨佳, SHEIK MOHIDEEN SAHABUDEEN, 柴田久美, 徳永真希, 南平綾香, 畑中三千代, 劉 芳 [三重] DEWI UTAMI IRIANI, 常世田智明, 永田裕寿, 成瀬恵子 [滋賀] 小池由香 [京都] 五十川泉, 須賀英道, 中村典子, 増田直美 [大阪] 石田聡美, 井戸正利, 儀間佐和子, 野村 誠, 兵頭君代, 山田妙詔, 山本三恵子, 横田恵理, 和田ゆき恵, 渡邊由理子 [兵庫] 青山雅恵 [鳥根] 米原満子 [岡山] 斉藤勝剛, 山中玲子 [山口] 玉木英樹 [香川] 作江里枝 [福岡] 井元智映子, 草本君子, 桑原恵光子, 松崎佳奈 [熊本] 原 貴子 [宮崎] 玉江和義, 中村武博

## 第13回 産業医プロフェッショナルコース開催のお知らせ

主催 日本産業衛生学会産業医部会  
後援 財団法人労働衛生会館

本コースは、実践的なスキル向上を目指す産業医のために企画された参加型の研修コースです。

2つのコースが並立に運営されます。「メンタルヘルス」コースでは、事例に対する産業医の的確なアセスメント力の習得と事例解決力の向上、また組織をマネージしていくための技術として組織心理学に焦点を当てた管理職教育事例の体験をします。「役立つ疫学」コースでは、基本的な疫学理論の学習と論文の批判的吟味のしかた、産業現場における疫学的研究デザインを実習します。どちらのコースも意欲的で実践的な企画内容です。参加者の専属産業医、嘱託産業医、は問いません。

日時：平成21年1月17日(土)～18日(日)  
会場：オンワード総合研究所 人財開発センター  
(下記に詳細)

研修テーマ：「Ⅰ：組織心理学の職場への応用」  
「Ⅱ：現場に役立つ疫学セミナー」

Ⅰ：研修テーマ：「組織心理学の職場への応用」

1日目(1月17日 13:00～18:30)

- 1) メンタル不調のアセスメントと対応 ～構造化面接の習得～

田中克俊(北里大学)

- 2) グループワーク

2日目(1月18日 8:45～12:00)

- 1) 組織心理学の職場への応用 田中克俊(北里大学)
- 2) フェアマネージメント教育の実際

田中克俊(北里大学) 他

※募集人数 25名

Ⅱ：研修テーマ：「現場に役立つ疫学セミナー」

1日目(1月17日 13:00～18:30)

- 1) 産業医と疫学(総論) 野見山哲生(信州大学)
- 2) 方法論としての疫学(各論) 野見山哲生(信州大学)  
藤野善久(産業医科大学)
- 3) クリティカルレビュー 寶珠山務(産業医科大学)
- 4) グループワーク

2日目(1月18日 8:45～12:00)

- 1) グループワーク(続き)／発表準備
- 2) 発表およびレビュー, 総合討論

野見山哲生(信州大学) 他

※募集人数 25名

応募要領:

1. 会場：オンワード総合研究所 人財開発センター  
(羽田, 渋谷, 新横浜から便利です)

<http://www.onward-kensyu.com/index.html>

〒224-0012 神奈川県横浜市都筑区牛久保3-9-3

TEL:(045)912-8812 FAX:(045)910-1090

2. 参加資格：以下のどれかであること

- 1) 日本産業衛生学会産業医部会員
- 2) 日本産業衛生学会会員(医師であること)  
・産業医部会未入会の方はこれを機に是非ご入会ください(参加費は部会員の適応となります)。産業医部会への入会は、日本産業衛生学会会員であり医師であればどなたでも入会することができます。入会は年間通信費として¥2,000を申し受けます。

3. 参加費:

日本産業衛生学会産業医部会員 20,000円(2日間コース)

日本産業衛生学会会員(医師) 25,000円(2日間コース)

- ・2日間の参加コースしかありません。2日間ともご参加できない場合でも参加費は返済いたしませんのでご了解下さい。

4. 受講修了者には修了証を産業医部会長名にて発行致します。

5. 申込方法：添付のFAX様式(コピー)にてお申し込みください。FAXには、下記の1)～5)につきご記入をお願いいたします。

- 1) 「Ⅰ：組織心理学の職場への応用」もしくは「Ⅱ：現場に役立つ疫学セミナー」のどちらかのコースを選択
- 2) 資格(産業医部会員の有無)
- 3) 連絡先を記載：氏名, 住所(参加確定後の資料等送付先になります), 電話番号/FAX/メールアドレス(どれかを記載下さい。参加確定時の連絡先となります)
- 4) 宿泊：希望者は研修会場に宿泊することが出来ます。

・シングル：¥9,975税込

・ご希望の方は「研修場での宿泊希望(禁煙室希望等)」をご記載下さい。希望者には、事務局にて宿泊予約を致します。

- 5) 情報交換会(懇親会)の参加

1日目のプログラム終了後、Pコース参加者全員によるパーティ形式の交流会を行います。参加者、講師、運営スタッフ、との懇親を深めましょう。

・参加の有無を選択下さい。

・参加者は 別途¥5,000を申し受けます。

<事務局>

「(株)ヒューマン・リサーチ内 産業医プロフェッショナルコース事務局」 FAX:03-3358-4002

〒160-0011 東京都新宿区若葉2-5-16 向井ビル3F

(株)ヒューマン・リサーチ TEL:03-3358-4001

6. 応募の開始および締切

「応募開始」(申し込みは先着順とさせていただきますのでご了承ください)

産業医部会員 平成20年10月20日(月)9:00から

非部会員(学会員) 平成20年10月27日(月)9:00から

「応募締切」

産業医部会員 平成20年11月7日(金)17:00まで

非部会員(学会員) 平成20年11月7日(金)17:00まで

ア) 応募締切後、参加決定者には、後日事務局より受講料振込み等のお願いが郵送されます。

イ) お振込みいただく金額として、上記受講料費に加え、宿泊代(希望者)、情報交換会(希望者)の参加費が加算されますのでご承知おきください。

7. 補足

1) 産業医プロフェッショナルコースは「産業衛生学会専門医制度委員会」と連携しています。専門医研修中の先生方に対する教育コースにも認定されていますので、受講実績につきましては正式な研修単位(専門医の場合は指導医への認定単位)として認可されます。

2) 産業医プロフェッショナルコースは、日本医師会認定産業医単位の発行はしていませんのでご注意ください。

3) 研修において都合により講師の一部変更の場合があります。

(切り取り)

日本産業衛生学会  
産業医Pコース事務局行  
(FAX : 03-3358-4002)

申込日 月 日

日本産業衛生学会 産業医部会  
産業医プロフェッショナルコース参加申込書

コース (どちらかに○)	① I : 組織心理学の職場への応用 ② II : 現場に役立つ疫学セミナー
氏名	フリガナ ( )
産業医部会員の 有無	① 産業医部会員 ( 地方会所属) ② 非産業医部会員
連絡先(資料等 の送り先)	( 自宅 ・ 勤務先 ) 〒 - TEL : FAX : e-mail :
情報交換会 (懇親会)	① 参加する ② 参加しない
宿泊希望 (研修会場)	① 希望する (禁煙室希望 有・無) ② 希望しない
備考 (費用)	1. 医部会員 受講料 20,000 円 一般会員 受講料 25,000 円 2. 情報交換会 (懇親会) 費 5,000 円 (希望者のみ) ※3. 宿泊料 (シングル) 9,975 円 (希望者のみ)
連絡事項	

## 第 82 回日本産業衛生学会 (第 4 報)

第 82 回日本産業衛生学会総会 企画運営委員長 田中勇武

第 82 回学会総会に関する諸事につきましては、第 82 回ホームページ (<http://82sanei.jp/>) に順次掲載しておりますのでご利用下さい。

1. 会 期：学 会 2009 年 5 月 20 日 (水)～22 日 (金)  
特別研修会 2009 年 5 月 23 日 (土)

2. 会 場：福岡国際会議場 福岡市博多区石城町 2-1

3. メインテーマ：超高齢社会を迎える日本 その産業保健戦略は

### 4. 企画概要

特別講演：生涯現役への挑戦

加藤一二三 将棋九段 (福岡県出身)

メインシンポジウム：超高齢社会を迎える日本 その産業保健戦略は

シンポジウム：

- テーマ 1 超高齢社会を支える女性労働者の健康支援  
—生涯を通じてのワークライフバランス支援と健康管理のあり方—
- テーマ 2 特殊健診における生物学的モニタリングの現状と課題
- テーマ 3 これからの医療従事者の産業保健
- テーマ 4 各世代の労働者に見られるメンタルヘルス不調の特徴と対策
- テーマ 5 職場のメンタルヘルス最前線  
—対策と効果評価—
- テーマ 6 職域における喫煙対策、「これまで」と「これから」
- テーマ 7 働くことの価値そして健康効果  
—産業保健は社会参加の促進にどのように寄与できるか—
- テーマ 8 ナノ粒子などの微細粒子のハザード・リスク評価と構築
- テーマ 9 産業保健における睡眠障害対策の重要性  
—労働災害防止と健康増進の新たな視点—
- テーマ 10 これからの日本産業衛生学会専門医制度のあり方
- テーマ 11 グローバル化社会における心豊かな働き方
- テーマ 12 特定保健指導に有効な介入法についての検討
- テーマ 13 産業疫学研究の活性化に向けた倫理的手続き
- テーマ 14 現代人の健康と食生活  
—食文化変容が産業労働の根幹を変える—

他に、総会、学会賞・奨励賞受賞者講演会、一般口演、ポスター展示及び発表、部会などフォーラム、研究会、各種委員会、ランチョンセミナー、イブニングセミナー、企業展示、書籍展示など。

### 5. 特別研修会

第 82 回学会ホームページ (<http://82sanei.jp/>) および産衛誌 50 巻 5 号に掲載していますのでご参照下さい。

### 6. 参加登録

学会参加費、出題費、懇親会費並びに特別研修会参加費の事前登録は、産業衛生学雑誌 50 巻 5 号 (9 月号) に綴込みの「郵便払込取扱票」をご利用の上、お振込ください。郵便払込取扱票は、1 人 1 枚の使用をお願い致します。

#### 1) 学会参加費

事前登録の期限は 2009 年 2 月 27 日 (金) までと致します。

但し、発表者は演題申込み前の 2008 年 12 月 19 日 (金) まで

でお願い致します。

#### ■学会員

事前登録：8,000 円 (2009 年 2 月 27 日 (金) まで)

当 日：10,000 円 (事前登録締切日以降は当日受付でお支払い下さい)

事前登録をされた方は、締切り後に参加票を郵送致します。

#### ■非会員

10,000 円

#### 2) 出題費

1 題につき 2,000 円

学会参加費と一緒に必ず筆頭発表者が、「郵便払込取扱票」にてお振込み下さい。

#### 3) 懇親会費 (会員・非会員共通)

事前登録：8,000 円 (2009 年 2 月 27 日 (金) まで)

当 日：10,000 円 (事前登録締切日以降は当日受付でお支払い下さい)

#### 4) 特別研修会参加費

特別研修会のご案内または第 82 回学会ホームページをご覧ください。

### 7. 演題申込み及び抄録原稿

一般演題申込み及び抄録原稿の受付 (2008 年 11 月 21 日 (金) 開始) は、インターネット (<http://82sanei.jp/>) による申込みで行って下さい。なお申込みの際は、発表者は必ず学会参加費のお振込みをお済ませ下さい。

1) 一般演題申込み及び抄録原稿の締切日：2008 年 12 月 19 日 (金) 正午 (時間厳守)

2) 一般演題申込み方法：詳細は第 82 回日本産業衛生学会ホームページ ([http://82sanei.jp](http://82sanei.jp/)) の一般演題登録にてご案内致します。

3) 一般演題は、口演発表とポスター発表で行います。申込みの際にご希望の発表形式を選択して下さい。なお、発表形式はご希望に添えない事もありますのでご了承下さい。

4) 一般演題は、発表者としては 1 人 1 題に限らせていただきます。

5) 一般演題の発表者は日本産業衛生学会会員に限ります。また、連名者も、登録時点で日本産業衛生学会会員である方に限ります。会員でない方はご入会ください。入会手続きについては、下記事務局 (No. 14 参照) へ直接ご連絡いただくか、日本産業衛生学会ホームページ (<http://www.sanei.or.jp/>) より行って下さい。

### 8. 口演発表

1) 口演発表時間は口演 7 分、討論 5 分の予定です。

2) 講演集を用いた発表に加え、パワーポイントによる PC 発表のみ可能です (OHP、スライドは不可)。パワーポイントは Windows 版の PowerPoint2000 以上で作成して下さい。Mac での作成データは受け付けできません。

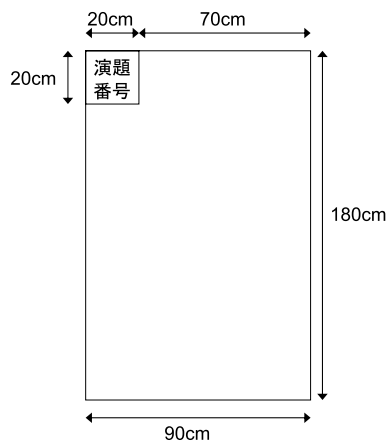
3) PC によるプレゼンテーションは、演台にセットされているモニター・キーボード・マウスを使用し、各演者ご自身で操作願います。

4) 発表データの受付方法につきましては、第 82 回日本産業衛生学会ホームページ (<http://82sanei.jp/link/index>。

html)にてご確認ください。

### 9. ポスター発表

ポスター展示用スペースは、1演題あたり、横90cm×縦180cmです。左上部の横20cm×縦20cmは事務局で演題番号を貼付します。右上部にタイトル(横70cm×縦20cm)を、その下に本文を提示して下さい。



### 10. 懇親会

日時：2009年5月21日(木) 18:00より

会場：ホテルオークラ福岡 4階 平安の間  
福岡市博多区下川端町3-2

### 11. 委員会・部会および研究会などの申込み方法

会期中に部会・委員会・研究会等のための会場を福岡国際会議場内にご用意致します。

申込み方法については第82回学会ホームページに入力フォーマットと宛先を用意していますので、こちらからお申込み下さい。日時に関しては、締切り後調整させていただきます。

ますが、ご希望に添えない場合もあることをご了承下さい。

### 12. 宿泊

宿泊申込方法は、第82回日本産業衛生学会ホームページ(<http://82sanei.jp/link/index.html>)に掲載を致します。詳細はホームページにてご確認ください。

### 13. 研修単位の認定

日本医師会の研修単位認定、日本産業衛生学会産業看護師、産業看護職継続教育システム・実力アップコースの単位認定を申請予定です。詳細が決まり次第、第82回学会ホームページ等にて公示致します。

### 14. 日本産業衛生学会入会の申し込み

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-29-8 公衛ビル内

日本産業衛生学会事務局

TEL: 03-3356-1536 FAX: 03-5362-3746

ホームページ <http://www.sanei.or.jp/>

### 15. 第82回日本産業衛生学会プログラムの詳細およびCD-ROM等について

プログラムの詳細と学会運営等につきましては、平成21年3月刊行予定の産業衛生学雑誌第51巻2号にCD-ROMを同封する予定です。

### 16. 連絡先

#### (1) 事務局代行

株式会社アクシス

〒807-0822 北九州市八幡西区瀬板1-16-1

TEL: 093-603-8786 FAX: 093-692-3003

E-mail: [vic@axis.co.jp](mailto:vic@axis.co.jp)

URL: <http://82sanei.jp/>

#### (2) 本部事務局

第82回日本産業衛生学会 事務局(担当:明星敏彦)

産業医科大学 産業生態科学研究所 労働衛生工学研究室  
内

**第 82 回日本産業衛生学会・特別研修会のご案内（第 1 報）**

**1. 日 時：**平成 21 年 5 月 23 日（土）10：00～16：00

**2. 会 場：**福岡国際会議場 福岡市博多区石城町 2-1

**3. 研修単位の認定：**

日本医師会認定産業医制度産業医学研修申請予定（合計 5 単位）

基礎（後期）・生涯（専門） 1 単位

生涯（更新） 1 単位

基礎（実地）・生涯（実地） 3 単位

日本産業衛生学会産業看護職継続教育システム実力アップコース申請予定

**4. 参加費：**

日本医師会認定産業医産業医学研修単位を必要とする学会員

8,000 円（平成 21 年 2 月 27 日（金）まで）

日本医師会認定産業医産業医学研修単位を必要としない学会員

7,000 円（平成 21 年 2 月 27 日（金）まで）

※平成 21 年 2 月 27 日（金）で郵便振替は終了いたしますのでご注意ください。

原則として登録後の返金はいたしませんのでご了承ください。

当日会費 10,000 円

非学会員 10,000 円

**5. 参加申し込み：**産業衛生学雑誌 50 巻 5 号（9 月号）に綴込みの「郵便払込取扱票」をご利用の上、お振込ください。郵便払込取扱票は、1 人 1 枚の使用をお願い致します。また、追加部数につきましては、第 82 回日本産業衛生学会事務局代行までご請求下さい。通信欄に「特別研修会参加費」の項目がありますので、ご利用下さい。平成 21 年 2 月 27 日（金）までに申し込まれた方は、締切り後に参加票を郵送致します。非学会員の方は、平成 21 年 2 月 27 日（金）までに郵便振替にてお振込下さい（通信欄に「特別研修会参加申込」と明記して下さい）。

口座番号：01770-5-120515

口座名称：第 82 回日本産業衛生学会

**6. 申込締切日：**平成 21 年 2 月 27 日（金）

締切日以後の申込・当日受付のお問い合わせは第 82 回日本産業衛生学会事務局代行へお願い致します。

**7. 第 82 回日本産業衛生学会事務局**

(1) 事務局代行

株式会社アクシス

〒807-0822 北九州市八幡西区瀬板 1-16-1

TEL：093-603-8786 FAX：093-692-3003

E-mail：vic@axis.co.jp

URL：http://82sanei.jp/

(2) 本部事務局

第 82 回日本産業衛生学会 事務局（担当：明星敏彦）

産業医科大学 産業生態科学研究所 労働衛生工学研究室内

※平成 21 年 5 月 23 日（土）は、託児サービスを行いませんのでご了承下さい。

## 第 41 回生物学的モニタリング・ バイオマーカー研究会

日 時：平成 20 年 11 月 22 日（土） 午後  
 会 場：佐賀大学医学部臨床小講堂（佐賀市）  
 特別講演：「DNA 酸化的損傷 8-OH-dG の分析」  
 葛西 宏（産業医科大学職業性腫瘍学教授）  
 一般発表：演題募集中 締切 10 月 22 日  
 問 合 せ：市場正良 ichiba@cc.saga-u.ac.jp  
 佐賀大学医学部社会医学講座環境医学分野  
 〒 849-8501 佐賀市鍋島 5-1-1  
 TEL：0952-34-2289 FAX：0952-34-2065  
[http://www.social-med.med.saga-u.ac.jp/bm2\\_2008\\_saga.htm](http://www.social-med.med.saga-u.ac.jp/bm2_2008_saga.htm)

## 日本産業衛生学会編集委員会企画 「編集委員長と話そう：産業衛生学雑誌・JOH が求める論文とは、そして雑誌の将来像とは」

日 時：2008 年 11 月 28 日（金）12～13 時  
 場 所：松山市総合コミュニティセンター第 5 会議室  
 第 18 回日本産業衛生学会産業医・産業看護全国協議会（愛媛）  
 内 容：日本産業衛生学会編集委員会から川上編集委員長、井上副編集委員長ほかが出席し、学会員との自由な意見交換により、産業衛生学雑誌・Journal of Occupational Health (JOH) 誌の将来像について考えます。また論文投稿のポイントについても話題にいたします。ご関心のある方のご参加をお待ちしております。  
 連絡先：日本産業衛生学会編集委員長 川上憲人  
 東京大学大学院医学系研究科精神保健学学分野  
 TEL：03-5841-3521  
 E-mail：kawakami@m.u-tokyo.ac.jp

## 有機溶剤による重症過敏症反応と ヒトヘルペス 6 型再活性化に関する 国際シンポジウム

### International Symposium on Solvent-induced Severe Hypersensitivity Reactions and Human Herpesvirus 6 Reactivation

日 時：2008 年 11 月 29 日（土）10：00～11 月 30 日（日）  
 17：00  
 会 場：名古屋丸の内東急イン（名古屋市中区丸の内 2 丁目 17 番 18 号）  
 学会長：那須民江（名古屋大学教授）  
 内 容：トリクロロエチレンによる重症皮膚肝障害を中心に、産業保健、重症薬疹、小児ウイルス学領域等の日中韓の研究者がシンポジウム形式で議論します。  
 問合先：名古屋大学大学院医学系研究科環境労働衛生学  
 上島通浩  
 TEL：052-744-2124  
 E-mail：meisei@med.nagoya-u.ac.jp  
 URL：<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/hygiene/>

## 日本産業ストレス学会研修会

テーマ：職場のメンタルヘルスに関する動向と対策  
 日 時：平成 20 年 12 月 7 日（日）10：00～16：10  
 場 所：東京大学医学部教育研究棟 14 階鉄門記念講堂  
 （東京都文京区本郷 7-3-1）

### 研修プログラム：

職場のメンタルヘルスをめぐる行政の動向  
 —第 11 次労働災害防止計画を中心として  
 廣 尚典（産業医科大学）  
 職場で近年増えているうつ病とその対策  
 夏目 誠（大阪樟蔭女子大学）  
 職業性ストレスの評価と対策—最新情報  
 原谷隆史（労働安全衛生総合研究所）  
 ワーク・ライフ・バランスと心身の健康  
 石川俊男（国立国際医療センター）  
 職場復帰をめぐる産業保健スタッフと精神科医・  
 心療内科医との連携  
 齊藤政彦（大同特殊鋼）  
 石川浩二（三菱重工業）  
 原谷隆史（労働安全衛生総合研究所）  
 廣 尚典（産業医科大学）

### 認定単位：

日本医師会認定産業医制度  
 基礎研修（後期）4 単位・（実地）1 単位  
 生涯研修（更新）1 単位・（専門）3 単位・（実地）1 単位  
 日本産業衛生学会産業看護職継続教育システム実力アップ  
 コース 5 単位

申込方法：申込書を FAX または Email で送付後、参加費をお振込みください。  
 詳細は HP (<http://jajsr.umin.ac.jp/Kensyuu16-1.html>) をご覧下さい。

申込締切：平成 20 年 11 月 17 日（月）

申込・問合先：日本産業ストレス学会事務局  
 〒 807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1  
 産業医科大学産業生態科学研究所精神保健学教室内  
 TEL 093-691-7475 FAX 093-692-5419  
 E-mail yufuka@med.uoeh-u.ac.jp